

さいたま市立病院中期経営計画の達成状況（令和6年度）に対する評価結果

1 評価組織：さいたま市立病院経営評価委員会

役職	職名	氏名
委員長	一般社団法人浦和医師会会長	桐澤 重彦
副委員長	早稲田大学人間科学学術院教授	松原 由美
委員	平塚市病院事業管理者	石原 淳
	公益社団法人埼玉県看護協会会長	澤登 智子
	株式会社ウォームハーツ代表取締役	長面川 さより
	さいたま市自治会連合会副会長 ※R7.9.30付で退任	日向野 栄
	さいたま市自治会連合会副会長 ※R7.9.30付で就任	田口 邦雄

2 全体評価

令和6年度における「さいたま市立病院中期経営計画の達成状況」について、各取組項目に対する評価は「おおむね順調」であるものの、収支が悪化するなど厳しい経営状況にある点を踏まえ、以下のとおり総評する。

評価内容
<ul style="list-style-type: none">令和6年度の収支計画等、目標の達成状況に対する評価としては、前年度より収益が増加している努力は認めるが、昨年度を下回る40億円を超える赤字であることから、収支改善に向けてより一層の努力が求められる。公定価格の診療報酬が十分に措置されない一方、物価や人件費等の高騰で費用が増加し、公立病院だけでなく、全国的に多くの医療機関が苦しい経営状況にあり、多くは制度的な面で病院の努力ではどうにもならないところはある。特に高度急性期をやっている病院では赤字はやむ得ないものと理解する部分もある。しかし、こうした社会経済情勢だから赤字は仕方がないで済むのではなく、経営改善に向けて集患を強化し、延べ患者数、病床稼働率、手術件数の向上等、現場だけでなく病院全体で取り組んでいくしかない。市立病院は、地域の基幹病院として市民にとってなくてはならない存在である。今後は、タスクシェアやタスクシフト等、計画的に増やしてきた職員をいかに有効活用するかを考え、効率的で効果的な病院経営に繋げていくことが重要である。

3 各取組項目に対する評価及び助言

令和6年度の病院の各取組項目の目標達成状況に対する評価については、病院評価の評価基準に基づき「順調」、「おおむね順調」と評価した。助言の概要は以下のとおりとする。

助 言 内 容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年度決算については、前年度と比べ経常収益が増加したが、新型コロナウイルス感染症関連の補助金が皆減となったこと等により、収益は全体的に小幅な増加に留まった。 ・ 一方、物価高や人件費等の上昇により経常費用の増加が大きくなり、令和5年度決算を約12.5億円下回る経常損失40.8億円を計上したところであり、収益を上げるために救急応需率の向上や病診連携の更なる推進による集患の強化等、病院職員一丸となって経営改善を図る必要がある。

4 各取組項目評価一覧及び課題等指摘事項

項 目 評 価		委員会 評価	(参考) 病院評価
(1) 「地域完結型医療の要」として、地域医療における中核的な役割			
① 地域の基幹病院として地域住民から求められる医療機能の提供			
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新病院建設事業の円滑な推進 ・ 急性期病院としての機能強化と充実 ・ がん診療の機能強化と充実 	順調	順調
② 市が運営する唯一の公立病院として政策医療や災害医療の提供			
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周産期母子医療センターとしての機能維持と強化 ・ 救急医療体制の充実 ・ 災害拠点病院としての体制整備 ・ 感染管理に関する取組の推進 	順調※	順調
※指摘事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 救急の応需率が若干低いというのが正直なところ。高度急性期の救急を担う病院であれば、夜間でも救急病棟から一般床への転床がスムーズに行えるようにすべきである。 		
③ 病診連携の強化			
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域医療支援病院としての地域連携 ・ 産科セミオープンシステムの充実 ・ 病診連携の取組推進 	おおむね 順調※	おおむね 順調
※指摘事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回復期病院や療養病院といった後方支援病院へ訪問件数は、どちらも1件と少ない。患者の転院や在宅医療などの医療相談対応の中で、後方支援病院や介護事業所等と連絡調整を行っている実績もあることから、後方支援病院との病診連携の強化や、介護事業所との連携について院内で検討するとよい。 		

④ 安全・安心で質の高い医療の提供		順調	順調
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院機能評価の認定維持 ・ チーム医療の推進 ・ 医療安全に関する取組の更なる強化 ・ クリニカルインディケータの作成・公表・活用 		
⑤ 利用者サービスの向上		順調※	順調
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 患者満足度の向上 ・ 院外への情報発信 		
※指摘事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市立病院のPRという面で他の病院と比べると遅れていると思う。大きい建物は建っているが、地元の人以外にはよく知られていないのではないかと。ホームページはあるが、SNS等で紹介されていないため、PRを強化すべきである。 		

(2) 健全な経営基盤の確立			
① 業務改善に関する取組		順調	順調
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 院内情報システムの更新 ・ SPDによる物品の適正管理 ・ QC活動の実施 		
② 収益確保に向けた取組		おおむね 順調※	おおむね 順調
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医業収益の拡大 ・ 医業未収金の削減 		
※指摘事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新入院患者数と入院診療単価は、病院の規模からいってももう少し上がると思われるため、院内各科への働きかけなど対策を考えるべきである。 		
③ 費用縮減に関する取組		順調※	順調
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 材料費の縮減 ・ 医療機器等調達費用の縮減 ・ 経費縮減の取組 		
※指摘事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人件費や医療材料の高騰などで医業費用が予想以上に増加するなか、診療報酬の上げ幅が全く見合っていない。この状況で医業収入が上回ることはまずないため、収支差額は増加する一方である。現場だけで解決できるものではないため病院全体で取り組んでいくしかない。 		
④ 経営管理体制の整備		順調	順調
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営形態見直しに向けた取組 ・ 職員の意識向上 		

⑤ 職員の確保・人材育成と職場環境の整備			
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員採用に向けた取組 ・ 人材の育成 ・ 働きがいのある職場づくり 	順調	順調

※評価凡例：順調、おおむね順調、やや遅れている、遅れている